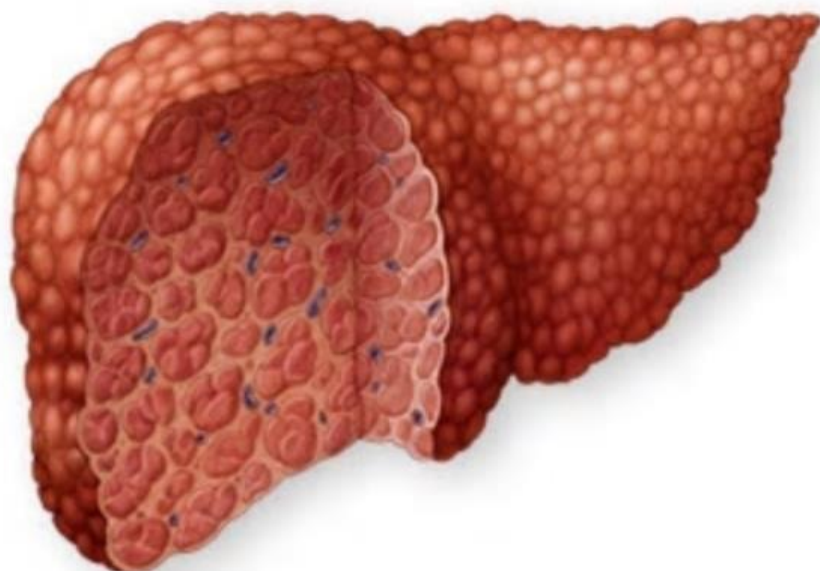
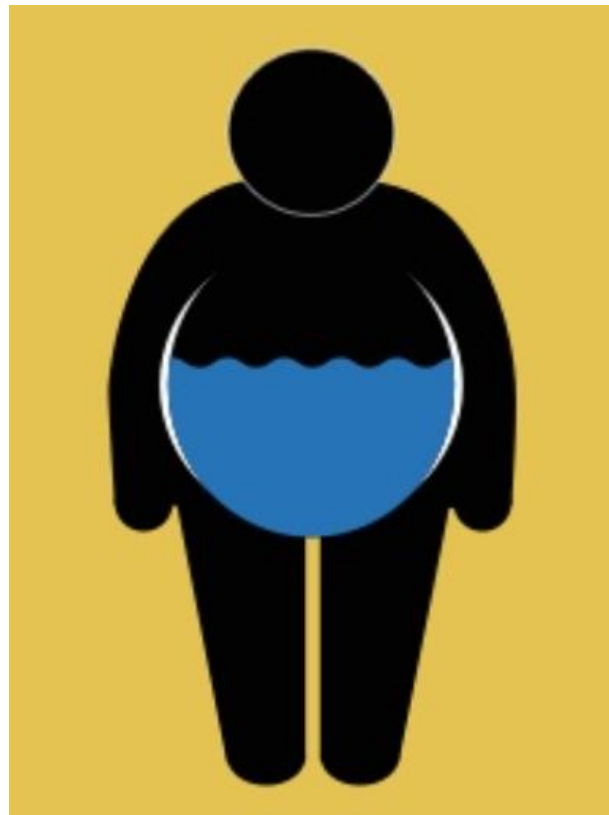


肝硬変患者へのアルブミン投与 について

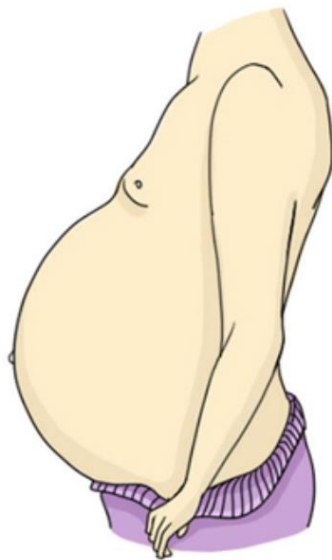
非代償性肝硬変患者に対する長期のヒトアルブミン（HA）投与が生存期間延長に有効であることを示す試験結果が、イタリアのグループにより *Lancet* 誌に発表されました。



同グループは、33施設参加の非盲検ランダム化比較試験で、腹水合併肝硬変患者に対する長期HA投与が生存に及ぼす影響を検討しました。



440 例を標準治療群（抗アルドステロン薬 200mg/日以上＋フロセミド 25mg/日以上）と標準治療＋HA 群（最初の 2 週間は 40g を週 2 回、その後は 40g を週 1 回投与）に割り付け、18 カ月間投与。



Kaplan-Meier 法による 18 カ月間の推定全生存率は標準治療＋HA 群で有意に高く（77% vs. 66%、 $P=0.028$ ）、死亡リスクは 38%低下しました（ハザード比 0.62、95%CI 0.40～0.95）。